

評価結果報告書

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係 宛て

提出日：令和 7 年 11 月 14 日

事業所名	グループホーム和楽
担当者名	松村 久仁子
連絡先	0835-28-8731

運営推進会議等での評価実施日	令和 7 年 11 月 13 日
----------------	------------------

提出書類(対象サービスの□に✓印をして下さい)

☐ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
(別紙 1) 自己評価・外部評価 評価表

☐ 小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)
(別紙 2-2) 事業所自己評価
(別紙 2-4) サービス評価総括表

☐ 看護小規模多機能型居宅介護
(別紙 3-3) 運営推進会議における評価

☒ 認知症対応型共同生活介護
(別紙 2 の 2) 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

【提出先】

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係
E-mail:kfukushi@city.hofu.yamaguchi.jp

評価結果報告書と提出書類をメールで提出ください。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関と職員の更衣室に理念を掲示している。 ただ、全職員に理念が共有できていないこともあるので、役職者中心に少しずつ伝えている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に加入しており、地域の火掃除にも参加をしている。 夏場以外、外出(散歩、買い物等)を行い、できる限り交流をはかっている。	○熱中症対策を行いながら、地域の納涼祭への参加も検討していく。		○感染状況を見ながら、今後地域との交流を深めていく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状、対面で会議を行い、委員の方に直接話を伺っている。	○今後も情報の共有と意見交換等を行っていく。		○今後も、運営推進会議の委員の方より、意見を頂き、質の向上につとめていく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不明な点があれば、行政へ確認、対応をしている。 グループホーム連絡会(市内のGHの施設長、管理者が参加)にも参加をしており、情報交換等を行っている。	○防府市も協力的なため、今後も市と情報提供、共有を行っていく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議(4回/年)と研修(2回/年)を開催しており、その中で身体拘束をする事のデメリット等を伝えている。 玄関の施錠については、20時以降、夜勤者のみになるため、安全面を考慮し施錠を行っている(20時～翌7時)。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○身体拘束や虐待に関しても、今後も日々学んでいって欲しい。また、各職員の意見も聴き、身体拘束行わないケアに努めていく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待についても、研修や身体拘束適正化会議でも、学んでいる(年4回の内、1回は運営推進会議での報告を予定している)。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○各職員の意見を役職者中心に聴き、問題解決に努め、虐待防止に努める。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度については、施設内研修で対応を行っているが、外部の研修や動画等も活用していきたい。			○研修(内部、外部)を受講しながら、各自、権利擁護を学んでいく。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約当日の説明、同意後、署名捺印をして頂いている。契約日以外でも、不明な内容等があれば、いつでも電話連絡、面会時等常時間いて頂けるようにしている。			○契約後にも不明点が出た時に、その都度対応を行っていく。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方、ご家族とも信頼関係を構築し、要望や意見を言っていたるようにしている(対面、電話、メール)。要望が上がれば、要望シートを作成し、他職員へも情報提供を行っている。		④. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報シートの活用を行い、入居者本人の思いを上手に受け止め、実現をしていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体会議や職員会議を必要に応じて開催をしているが、職員の余裕(和楽内でコロナ感染者が出ている時に関しては、職員の疲弊状況により)会議を延期することもあった。 内容によっては、役職者会議で検討し、経営会議で報告を行っている。			○職員の状況を見ながら、会議等対応を行っていく。また、会議が難しい時(和楽内で感染者が出ている時等)には、役職者が中心になり、個別で意見を聴取し、問題を解決していく。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就業環境によっては、要望が上がった場合、GH事業部に報告し、必要に応じて代表者へ報告している。 勤務年数、資格に応じて賃金テーブルを設定している。		A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○特に福祉や介護は人員不足の状況で、人を選んでいる余裕はないと思いますが、人と関わる仕事は特に向き不向きがあるため、入居者の方のためにも慎重に職員の見極めは行わなければいけませんね。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員に希望を聴き、研修の参加を検討している(現場の状況で参加できないこともあるため)。ただ、なかなか外部研修への参加が出来ていない現状。		A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○内部研修、外部研修を活用しています。外部研修に参加するために、長期的にわたり、休日や勤務の対応

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH連絡会への参加や他GHの運営推進会議へ参加を行い、情報交換や良い所を持ち帰り、参考にしている。			OGH 連絡会を通じて、同業者との交流をはかっていく。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活歴や要望、ご家族からの情報をもとに、好きな事やできる事を一緒に行っている（食器拭き、洗濯たたみ、野菜の水やり、草取り等）。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの感染状況により、面会も対面、窓越し、感染者が出た時には、感染予防のため、面会謝絶で対応を行っている（原則、12歳以上の方、15分以内、3名まででお願いをしている）。 高齢の知人の方で、面会ができない方に関しては、電話での対応も行っている。 ご家族の方とも連携し、馴染みの美容室のある方は、ご家族と一緒に入居後も通われている方もおられる。	○馴染みの方との関係について、感染状況を見ながら検討をしていく。また、職員の方の配慮もあり、安心している（ご家族より）。		○面会等は、市内の感染状況を見ながら、今後も対応を行っていく（対面面会）、感染状況が厳しくなれば、窓越し等できる限り、馴染みの人とのふれ合いができるように配慮していく。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族、元のケアマネジャーの方より、情報を頂きながら対応をしている。また、ご本人からは、関係性が構築できた時には、要望も言っていた事があるので、叶えられる要望であれば、都度計画をし、叶えていく。			○各入居者の要望を聴きながら、今後も叶えられる内容は、叶えていく。

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護支援専門員と役職者が中心になり、ケアプラン更新時にモニタリングを行っている。 全体会議(毎月開催)内でもケアプランの内容に関して、現状の確認とモニタリングを行っている。	○ご本人にアセスメントをしっかり行い、ご本人の希望を踏まえたケアプランになるといいと思う。	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○各職員が情報共有を行い、ケアの内容に関しても、職員で話し合っていく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ⑩. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌やヒヤリハット、よかったホット、事故報告等を活用し、情報提供を行っているが、新人職員(介護が初めての職員)には、ケアプランの説明から行っている。		A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○今後もよかったことやひやり、事故も情報提供を行い、全職員と共有を行う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族より要望があった場合には、要望シートを作成し、職員で情報共有を行っている。 医療面(看取り含む)で要望が上げれば、看護職員へ報告。看護職員より、主治医へ報告し、対応を行っている。	○何かあれば、情報提供を職員に行い、共有を今後もはかっていく。		○医療面に関しては、何かあれば主治医・看護職員と連携を図っていく。都度、ご家族にも報告をしていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ⑩. あまりできていない D. ほとんどできていない	近所のスーパーや喫茶店に行き、ご本人が欲しい物等を購入している。 楽さん家だより等も活用し、和楽内の事を情報発信している。	○近所にスーパーや買い物ができる所があるので、よいですね。		○今後も、一緒に買い物に行き、ご本人の好まれる物を購入していく。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	初診以降は、主治医が24時間、往診をくださるため、何かあれば看護職員へ報告し、看護職員より主治医へ報告、指示を仰いでいる。 薬に関しても、薬剤師と契約を行い、不明な点があれば、看護職員より、相談をしている。 歯科に関しても、訪問歯科で対応。歯科医師の指示により、通院が必要になった場合には、通院を行っている。			○何かあれば、主治医と看護職員、ご家族と連携を図っていく。

				ご家族が希望される主治医以外の病院であれば、ご家族にも協力をして頂き、通院を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時した場合、和楽から入居者の方の情報提供を病院へ行い、退院が決まった時には、ご家族と連携をし、病院の地域連携室の方と相談・情報提供を行いつている。退院後には、和楽の主治医へ看護職員から情報提供を行っている。 (入院中もご家族の方と情報提供、共有、看護職員と面談を行っている)。		A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○入退院を行い時には、地域連携室の担当の方と情報提供をしっかり対応を行っていく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に、看取りの希望を伺うが、その時に応じて内容は変更可能と説明を行っている。 看取りに入った場合、ご家族、看護職員、管理者、計画作成担当者が中心になり、ご家族の意向の確認。書面をかわし、主治医にも、ご家族の意向を伝えていく。 GHでできる看取りは、最期まで馴染みの関係性で対応を行ったり、淋しくないように好きな音楽や声を掛ける等個人に応じた対応を行う。職員に対しても、看護職員より、今後起こり得る可能性があること等全体と個別でレクチャーを行っている。 延命等を希望された場合には、主治医と連携し、転院退去もあり得る。		A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○入居時の説明と状況が変化した時には、都度説明をされているので、今後も対応していく。また、看護職員も交えながら、今後の方向性を分かりやすく話をし、少しでも安心をしていただけるよう配慮していく。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故、急変時のマニュアルがある。看護職員が全体や各職員へ必要に応じて伝えている。 何かあれば、都度看護職員へ報告し、指示を仰ぐ。主治医には、看護職員より都度報告、指示を仰いでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の避難訓練(内1回は、防災訓練含む)を行っているが、体調不良者や暑い時期に開催する場合は、職員が入居者役になり、避難誘導の流れを把握した。 新田の楽さん家と共同開催を行い、可能な限り、自治会長にも参加をして頂いている。	○今後、入居者のご家族の方や地域の方にも、参加をして頂き、避難訓練の方法を伝えていく。自治会長より、地域の方へ声を掛けていくことも可能。	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○コロナ禍になり、地域の方のお声掛けが最小限になっていったので、状況を見ながら、自治会長以外の方の参加も依頼していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心や羞恥心に配慮をして対応を行っている(入浴時には、洗面所と脱衣所が同じ場所にあるため、防災カーテンで仕切る等配慮をしている)。		A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○ 自尊心に配慮をしながら、今後も日常生活の対応をしていく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の時間等一日の流れの目安はあるが、入居者の方のその日の体調や気分によって、時間帯を変更する事はある。 入浴に関しては、できる限り19時半までに終了をしている(20時以降、夜勤職員のみになるので、事故予防のため)。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の好みをご本人やご家族等から情報収集し、提供を行っている。 食事形態(常食、ソフト食等)は、その方の飲み込みの状況		A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○ 入居者の食事状況にあわせて対応を行う。

				等を確認し、必要に応じて主治医へ相談、理学療法士、作業療法士へ相談し、見ていただき助言を頂いている。 食事の準備(テーブル拭きや盛り付け等)や後片づけ(食器拭き等)もできる方は一緒に行っている。 行事(花見、夏祭り、クリスマス会等)も、できる範囲で対応を行っている。			
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ナリコマの栄養士の方が、1日 1400～1500 ㎉(おやつ含め)で計算をされている。 水分補給に関しては、無理をせず、飲用された量も、記載をし、一日の水分量の把握に努めている。 お茶が苦手な方に関しては、糖尿病等ない場合、看護職員に相談し、好きな飲み物(ポカリ、コーヒー等)でも対応し、美味しく摂取していただける工夫をしている。			○各入居者の状況を見て、食事内容(常食、ソフト食等)を検討していく。また、看取りの時期には、できる限り、食事をご本人が食べたい時に 24 時間提供できるように配慮を行う(食事が苦痛にならないように)。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを行っている。入居者の状況に応じて、歯ブラシ、口腔スポンジ等適切に対応を行っている。 歯科医師や歯科衛生士に口腔内のチェックや指導をして頂いている。		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○ 今後も、個人の状況にあわせて清潔保持を行う。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌を活用し、排泄状況を把握している(排尿、排便)。必要に応じて、水分補給や下剤の調整を行っている。 下着に関しては、布パンツ、リハビリパンツ、紙おむつ等を使用し、尿取りパッドも本人の尿		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○ 個人の状況にあわせて、今後も対応を行っていく。

				量等も見ながら、状況にあわせて使用をしている。			
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴チェック表を確認し、週に2～3回を目安に入浴をしている(その日の体調により)。 入浴拒否がある方に関しては、入浴をされた成功事例を伝えていき、気持ち良く入浴して頂けるに配慮をしている。			○羞恥心もあるため、ご本人の希望を聴きながら、対応を行う(時間帯、希望者のみ同性介助等)。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の自室の電球も、その方の希望が確認できる場合には、対応している。 希望が無い場合は、豆球にして、夜間休んでいる時にも、1時間に1回見回りを行い、空調管理、布団調整等を行っている。			○入居者の状況や希望(電球の明るさ)や看取り時も好きな音楽を流したり、写真を飾ったり、淋しくない配慮を行いながら、対応していく。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じて、主治医へ相談、報告を行い対応をしている。 薬剤師も、週に1回薬を発注した方に関しても、情報収集をしてくださっているので、その時にも情報提供を行っている。 それ以外にも、緊急の場合は、都度主治医、薬剤師へ相談、指示を仰いでいる。		A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○不明点は、主治医、薬剤師と連携を行い、今後も行っていく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族へ在宅で生活をされていた時の状況を聴いたり、ご本人からも要望があれば、都度対応を行っている。 買い物、畑仕事、家事、レクリエーション等を行っている。 季節に応じたレクや、ミニ運動会、納涼祭等も行っている。	○ 今後も、入居者の方の状況を見ながら、好まれることも対応をしていく。 また、感染状況も見ながら、地域との付き合いを行う。		○日常生活内でも、楽しみや役割を持ち、対応を行う。

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	春、秋には、外出支援(散歩、買い物)を行っている(夏場は、熱中症予防のため、室内中心の生活)。	○ 外出支援も、外気に注意し熱中症に注意しながら対応を行っていく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望者には、財布の管理をして頂いているが、現在希望者がおられないため、和楽の金庫で職員が管理を行っている。 希望があれば、ご家族と金額を相談の上、財布をご本人に渡し、保管をして頂く。			○ 金銭管理や支払いに関して、希望があればご家族の方とも相談しながら対応していく。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族や高齢の知人より本人携帯へ連絡があり、会話を楽しんでいた。 携帯電話を保有されていない方に関しては、和楽の固定電話でも対応可(短時間)。			○ 馴染みの方との繋がりを今後も対応していく。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に応じた壁面を入居者の方と職員と一緒に作成し、食堂に飾っている。 混乱される方がおられる場合は、ご本人が混乱をされないように、テレビの内容等も注意をしている。また、混乱をされる内容の把握を行う。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○ 入居者の方の状況を見ながら、落ち着いた空間を今後も対応していく。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の要望や想いを聴けるように対応を志しているが、要望が上手に伝えられない方もおられるので、その場合は、ご家族にも相談をさせて頂き、対応を行っている。			○ 入居者の方の意向を確認しながら、対応をしていく。

				夜間一人体制時に『外出したい』『入浴をしたい』と要望があった時には、状況を伝え、翌日対応する事もあった。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族や知人と繋がりが切れないように、キーパーソンの方を中心に情報提供を行っている。 面会に関しても、12歳以下の方に関しては、感染予防で面会ができないため、看護職員とも相談をしながら、窓越し・テレビ電話等で関係性が途切れないように工夫をしている。			○ご本人のご家族や馴染みの方との繋がりが途切れないように、今後も感染状況を見ながら、面会を行っていく。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が看取りの要望を伝えられた時には、ご家族にも情報提供を行っている。 日々の健康面に関しても、看護職員と主治医が連携を図っており、都度、看護職員(状況により、管理者)がご家族に情報提供し、要望を確認している。		A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○ 医療面に関しても、主治医、家族、看護職員、職員で連携して対応を行う。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の生活歴や趣味を確認し、できる限り対応を行っているが、現状、入居時よりADLの変化があり、できない事もあるため、その時に楽しめる事の提供やできるように職員が工夫を行っている。			○入居者の方がこれまで生活の中で大切にしてきたことや趣味をできる限り一緒に行っていく。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少しでも早く、和楽に馴染んで頂けるように、ご家族の方に協力をして頂き、入居時に馴染みの物を持って来て頂いている(写真や鞆、ぬいぐるみ等)。		A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○ 今後も、入居者の方に馴染んで頂けるように、対応を行っていく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族に協力して頂いたり、職員の配置を検討し、外出イベントや散歩を行っている。 ご家族より、10月に職場のお祭りに来て欲しいと要望があ	○ 入居者の方の状況を見て対応をしていく。帰宅を要望された時の対応について、どのように対応しているのか？		○ 帰宅を要望された時には、ご本人の話を傾聴、受容し、少しでも安心していただける声掛けを行うため、ご家族からも日頃から、情報の聴き取りを行う。

				り、感染状況とご本人の体調に応じ、参加を行う予定。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の理解度に応じて、説明方法を変えたり、工夫をして一緒に行っているが、ご本人の機嫌によって対応が難しい場面もあるため、状況に応じて対応を行っている。また、時間を空けたり、職員が交代する事で、対応が可能になる場合もあるので、状況に応じて対応を行う。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好きな事やYouTubeを使用し、昔の防府市等の動画を流し『昔、こんな事があったよ』等会話の幅を広げたり、回想法を行っている。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○できる限り、職員や他の入居者の方とコミュニケーションを図り(その方の性格による)、安心していただける関係性を構築していく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ⑥. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出時には、挨拶を行ったりできる限り、交流を行っているが、地域の行事になかなか参加が出来ていないのが現状(夏場は、感染予防や熱中症予防を行っているため)。	○施設内で音楽療法を取り入れている。		○地域交流が減っているため、今後感染状況や熱中症に注意をしながら、地域との交流をはかっていく。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている ⑥. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方一人ひとりと信頼関係を構築し、馴染みの関係性になれるようにしていくと共に(新規入居者の方もおられるため)、ご家族や知人、主治医や地域の方とも協力をして、少しでもご本人らしく、最期まで生活ができるように取り組んでいきたい。	○ これからも、入居者のために頑張っていってください。	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○日頃から、関係性の構築に努め、ご本人が安心していただける環境を作っていく。ご本人の要望を聴き、叶えられることであれば、一緒に行っていく。

2. 目標達成計画

事業所名: グループホーム 和楽

作成日: 令和7年 9月 11日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	12	・各職員の力量に、ばらつきがあるため、役職者が 中心になり、各職員のスキルアップを行っていく。	① 各職員のスキルアップ ② 研修の活用	・各職員の状況と要望を聴く。 ・内部研修、外部研修の参加や動画を利用し て、 勉強会を行う。 ・勤務内で、不明な内容(介護技術、制度面等)は、 都度伝えていく。	12ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。